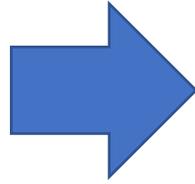


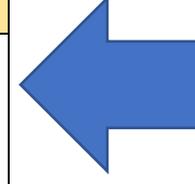
長崎市第四次教育振興基本計画

G1-1 確かな学力向上
 G1-2 健やかな体と心の育成
 G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
 G1-4 子どもが安全安心に学べる教育環境の整備



学校教育目標

豊かな心を持ち
 自ら求めて学ぶ意欲と実践力のある
 健康でたくましい日見っ子の育成



児童の実態

- ・ 道徳心が十分育っているとはいえない
- ・ 学習へ主体的に取り組もうとする意欲が高まってきている
- ・ 毎日の外遊びに個人差がある

授業改善

①各クラス1学期末評価問題→学年末評価問題
 「知識及び技能」「思考力・表現力・判断力」
 それぞれで正答率5%アップを目指す
 ②来年度学力テストで、県平均との差を
 4, 5年は-1pt、6年は+3ptを目指す

③教師が児童のつまずきや困り感を理解し
 適切な支援や工夫を行い
 授業に参加しやすい環境を整える

**ユニバーサルデザインの視点を
取り入れた授業実践**

理解（わかる）

- ・ 共有化
- ・ 感覚の活用
- ・ 視覚化
- ・ スモールステップ化
- ・ 展開の構造化
- ・ 焦点化

参加（活動する）

- ・ 時間の構造化
- ・ 場の構造化
- ・ 刺激量の調整
- ・ ルールの明確化
- ・ クラス内の理解促進

効果的なICT活用

chromebookを活用する

- ・ google フォームを使い
 意思表示をする場面をつくる
- ・ ジャムボードを使い
 話し合いを視覚化・構造化する

デジタルコンテンツを活用する

- ・ デジタル教科書を活用する
- ・ ICTを活用し視覚的な
 情報提示を行う

**児童の課題を
改善するための取組**

問題文を正しく読み取り、表現することができるようにする

- ・ 国語の問題集やQubenaに取り組み、問題に慣れる
- ・ 尋ねられていることに線を引く
- ・ 疑問の言葉（なぜ、何、いつ、どこ、など）の
 答え方を提示する
- ・ 表現の仕方のモデルを提示し、書き方の見通しを
 もたせる

自力解決・対話を工夫し思考力向上を図る

- ・ 選択肢をつくる、並び替える など
- ・ 対話の視点の明確化、形態の工夫 など

振り返りによる主体的態度の向上

- ・ 成果を実感し次の学習につなげる
- ・ 振り返りの視点を提示する

ユニバーサルデザインの教室づくり **学習規律の視覚化・徹底** **基本的な学習スタイルの統一** **知識及び技能の定着** **発達段階に応じた言葉の習得** **宿題提出率100%** **学習用具の忘れ物ゼロ!**

※赤字は今年度の重点課題

課題を踏まえた土台づくり・授業改善

問われていることに沿って、どのように表現するか考えることが課題

日見小学校 学力に関する児童の課題		
<p>1年生</p> <p>数の構成が理解できておらず、計算が苦手である 読解力が乏しく、問題の意味を適切に 理解できない児童が見られる</p>	<p>2年生</p> <p>書く活動が苦手な児童が多い 言葉の意味を理解できていないことが多い 文章問題を読んで、読み取る力が十分でない</p>	<p>3年生</p> <p>状況に応じてどのように文章を書けばよいか分からず 書くことが苦手な児童が多い 図形の理解が不十分である</p>
<p>4年生</p> <p>文章を読むこと・書くことが苦手な児童が多い 言葉の意味を理解できていないことが多い 基本的な計算力や数の概念の定着が不十分である</p>	<p>5年生</p> <p>条件に沿って理由や事例を挙げながら 書くことが苦手である 図形の理解が不十分である</p>	<p>6年生</p> <p>目的を意識しながら文章を要約することが苦手である 問題から重要な情報を読み取ったり 選別したりすることが苦手である</p>